

令和4年7月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

令和4年7月14日(木) 午後3時15分

2 出席委員

新 倉 聡 教育長
荒 川 由美子 委員(教育長職務代理者)
澤 田 真 弓 委員
川 邊 幹 男 委員
元 木 誠 委員

3 出席説明員

| | |
|---------------|---------|
| 教育総務部長 | 古 谷 久 乃 |
| 教育総務部総務課長 | 杉 本 道 也 |
| 教育総務部教育政策課長 | 飯 田 達 也 |
| 教育総務部生涯学習課長 | 柿 原 美 奈 |
| 教育総務部教職員課長 | 平 石 拓 |
| 教育総務部学校管理課長 | 二 見 裕 |
| 学校教育部長 | 米 持 正 伸 |
| 学校教育部教育指導課長 | 川 上 誠 弓 |
| 学校教育部支援教育課長 | 小 谷 亜 |
| 学校教育部保健体育課長 | 鈴 木 史 洋 |
| 学校教育部学校食育課長 | 山 田 智 子 |
| 学校教育部教育情報担当課長 | 矢 本 步 |
| 中央図書館長 | 山 口 正 樹 |
| 博物館運営課長 | 柳 井 栄 美 |
| 教育研究所長 | 阿 部 優 子 |

4 傍聴人 1名

5 議題及び議事の概要

教育長 開会を宣言

教育長 本日の会議録署名人澤田委員を指名した。

教育長報告

(新倉教育長)

それでは、6月定例会から本日までの所管事項について報告をさせていただきます。

お手元の教育長報告資料をご覧くださいと思います。

6月24日に、6月定例会本会議が終了したところであります。

翌25日に、不登校をともに考えるハートフルフォーラムを開催させていただきました。総合福祉会館において、参加者124名の方のご出席をいただいたところです。

また、6月30日から7月12日に関しては、学校給食センターにおいて、食育講座を開催させていただきました。

7月2日に、教育フォーラム2022を総合福祉会館で開催させていただきました。中学生から大学生、そして教育委員の皆様にご参加をいただきまして、今年度の教育フォーラムを開催したところです。

学校の行事といたしまして、6月28、29日に、芸術鑑賞会を3年ぶりに開催させていただきました。コロナ対策の関係で、これまで午前、午後、翌日の午前という3回だったものを、4回に拡充させていただきました。伴いまして、経費が加算した部分につきましては、一般財団法人シティサポートよこすかと公益財団法人横須賀芸術文化財団から、寄附を頂きまして、それに伴う感謝状をお渡しさせていただきましたところでございます。

(質問なし)

教育長 報告事項を聴取することを宣言

報告事項(1)『新型コロナウイルス感染症に係る市立学校等の対応について』

(保健体育課長)

保健体育課から、『新型コロナウイルス感染症に係る市立学校等の対応につい

て』報告いたします。

資料をご覧ください。

初めに、市立学校における新型コロナウイルス感染症陽性者についてです。

1番の(1)は令和4年4月1日以降の陽性者数について、週ごとに集計したものです。

同じく(2)は、週ごとの陽性者数をグラフ化しその推移を示した資料です。なお、7月8日からの直近1週間の数値については、集計上、昨日までの累加分の合計になっています。

前回、6月定例会では、児童生徒や教職員の陽性者数について、一時の状況と比較すると、現在は落ち着いていると報告いたしましたが、その後、全国的な感染者増加に伴い、本市学校関係者においてもここ三、四週間の間で急激に増加をしています。

次に、今後の感染予防対策についてです。

現在の感染状況を踏まえ、資料下段に示しました2番の(1)から(4)について、学校に依頼しています。

補足をさせていただきます。

(1)熱中症対策に配慮した感染防止対策については、前回の定例会でお伝えしたとおり、主にマスク着用に関して配慮を求める内容です。

(2)部活動における感染防止対策については、特にこの時期、公式大会やコンクールなど、校外活動が盛んに行われる状況を踏まえ、移動時や食事場面などにおいても、感染対策を徹底するよう改めて依頼しています。

(3)体調不良者の受診結果の確実な把握については、現在、インフルエンザ同時流行が懸念されていること。その他いわゆるプール熱等、季節特有の感染症によって、体調を崩す場合もあることなどから、各学校においては、体調不良で欠席している児童生徒に対し、医療機関の受診を促すことと、その診断結果についてもしっかりと把握するよう依頼しています。

(4)校外宿泊行事における体調不良者発生時の対応についてですが、市立小学校15校が6月中旬から7月下旬にかけて、主に5年生を対象に校外宿泊行事を計画しています。行程中に感染が拡大してしまうようなことがないよう、体調不良者が出た時点で、速やかに保健体育課に連絡し、保健体育課の指示の下、対応するよう依頼しています。

以上で報告を終わります。

報告事項（２）『教育フォーラム2022の開催報告について』

（教育政策課長）

教育政策課から教育フォーラムの開催について報告させていただきます。

資料のまず初めに、１の開催趣旨をご覧ください。

今回の教育フォーラムの開催趣旨につきましては、今年２月に策定いたしました新たな横須賀市教育振興基本計画を周知し、横須賀の目指す教育の姿「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり」について、様々な世代や立場の人に意見交換していただき、学校、家庭、地域で共有するというものでございました。

２の日時、場所については、記載のとおりでございます。

３の参加者についてでございますが、フォーラム全体では、教育委員の皆様や市議会議員など、見学者23名を含め、総勢89名にお集まりいただきました。ありがとうございます。

第１部のワールドカフェにつきましては、中学生、高校生、大学生、様々な方、また、未就学児の保護者、指導主事を含む教員の計66名が参加いたしました。

また、第２部のラウンドテーブルにつきましては、ワールドカフェの参加者が囲む中、学識経験者など６名の方からご発言をいただきました。

次に、４の開催内容についてでございます。

第１部をワールドカフェ方式、第２部をラウンドテーブル方式による意見交換会とさせていただきます。

第１部のワールドカフェにつきましては、リラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれたテーブルで共通のテーマについて、自由に意見交換を行い、ほかのテーブルとメンバーをシャッフルして話し合いを進展させるという手法を取らせていただき、横須賀の目指す教育の姿について、テーブルごとに多様な議論が交わされました。

議論の総括につきましては、資料１ページの下段から２ページに記載していますが、いずれも「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり」につながる内容だったと捉えています。

また、第２部のラウンドテーブルにつきましては、テーブルを囲み、討論者と参加者が自由に意見交換する場とさせていただきます。討論者は教員、学識経験者、学校関係者など５名の皆様にお願ひし、目指す教育の姿に対するそれぞれの思いを語っていただき、共有しました。

各討論者の主な発言につきましては、資料２ページの中段以降に記載しておりますので、ご覧ください。

フォーラム全体の進行まとめ役のファシリテーターにつきましては、関東学

院大学法学准教授の牧瀬先生にお願いし、牧瀬先生のゼミの学生の皆様たちには、第1部のワールドカフェの各テーブルで進行役となるテーブルホストを務めていただきました。

今回また、グーグルフォームを活用し、参加者から感想やご意見をウェブで回答いただきました。頂いた回答につきましては、資料の3ページにまとめさせていただきます。

今回のこの教育フォーラムが目指す教育の姿を実現するために、学校、家庭、地域と教育委員会がつながる機会となったことと捉え、様々な視点を参考にし、今後の取り組みに生かしてまいりたいと思います。

また、教育委員の皆様におかれましては、当日ご出席ありがとうございました。以上で説明を終了いたします。

(荒川委員)

では、私から、3ページの参加者の感想・意見等の中で、「C あまりよくなかった」という方がお2人いらっしゃるんですけども、その方がどういったところがよくなかったのかというような、具体的な何かご意見やご指摘ご指摘というのはあったのでしょうか。

(教育政策課長)

そこまで、ちょっと分析ができていなかったというところと、回答としてあまり詳しくは書かれなかったということだったと思います。

(荒川委員)

分かりました。ありがとうございました。

(澤田委員)

ありがとうございました。

このように様々な立場の人と語る場があるということは、大事なことだと思います。各テーブルから意見としても挙がっておりましたが、地域のイベントや市が行う催し、あるいは取り組みの周知、広報の工夫が必要だと思います。誰もが参加できるようにするには、どうしたらいいのか、アイデア出しが必要だと思います。

今後、ラウンドテーブルのテーマとして、さらに一歩進めて、「ではどうしたらいいのか」というような、実現させるための手だてについても話し合われるといいと思いました。

以上です。

(元木委員)

昨年に続き参加させていただきました。どうもありがとうございました。

今回は、新たに策定された横須賀の目指す教育の姿「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」と誇れる人づくり」というものが決まりまして、それが決まったからこそ、今回の内容のようなことも、自由コメントにあるような、横須賀の魅力を再発見、再認識できたというところにつながってきたのではないかと考えています。

それが「自分たちが住んでいるところというものをもう一回見つめ直した」というコメントからも分かりますが、これが横須賀の教育のますますのよさにつながっていけばと思っております。

また、今回もそうだったんですけれども、参加者から勇気のある発言が何件かあったというところも、とても印象に強かったと思っています。このような機会、また引き続き来年度もできればなと思っております。

どうもありがとうございました。

(川邊委員)

私は当日の聞いた範囲では、今回の「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」ということですが、比較的皆さん横須賀が好きというような気持ちでいらっしゃる方も多いように感じました。逆に難しいかもしれないけれども、少し好きになれないと言ったらおかしいんですけれども、否定的な意見を持たれている方がもうちょっといらしたらよかったかなというふうに聞きました。

(荒川委員)

私も、去年も感じたのですが、このワールドカフェ形式の意見交換の中で、各グループのまとめ役をしていた大学生の姿がすばらしくて、参加された方々への意見の聞き方などもとてもよかったなと思えました。

その中で、自由に意見が出されている中で、ちょっと幾つかのグループのお話を聞かせていただくと、やはり川邊委員おっしゃっていたように、横須賀に肯定的な意見をお持ちの方も多くて、よかったと思いますし、また、疑問点とか、いろんな意見が聞かれましたので、そこもとてもよかったと思えました。

このように、多くの方のご意見を聞く場があるということは、ありがたいです。毎年続けていっていただきたいなと思っています。

以上でございます。

(新倉教育長)

私も少し感じたことを述べさせていただきますと、こういったものに参加で

きる方というのは、発言できる方が多いので、本当に何か困っているというところの声がなかなか聞きにくいのかなとは思ったのですが、最後の意見交換の中でお話いただいた方の中に、例えば、相談する場所がやっぱりないんだよとか、自分たちの困っていることをきちんと発言される方がいらっしまったということがいいことだと思っています。それをぜひ、政策としては残していただいて、何が足りなかったのかということを生かす、褒めていただくことが目的じゃなくて、むしろそういう声を拾うということのスタンスをぜひ忘れないでいていただければなと思っています。

今回は、新しい振興基本計画のテーマがあり、それについて皆さんの思いをもう一回語ってもらいましたが、今後はそれが実践されているかどうかということを試していく状況になるので、ぜひそれを、まだこれが足りない、こうすればいいよという意見を拾えるような、次のワールドカフェ、あるいはラウンドテーブルがもしできていけば、次の計画、あるいは我々の政策の見直しに役に立つのではないかなと思っていますので、あえて政策には次に踏み込む形をお願いをしたいなと思っています。

(理事者報告なし)

(委員質問なし)

(新倉教育長)

ここで、8月4日の教育委員臨時会について、委員の皆様にお諮りをさせていただきます。

今回は、教科用図書採択を議題といたします。議事に関連する教科用図書採択検討委員会の委員長、各部長、関係部課長及び関係指導主事を出席させたいと思っておりますが、いかがでございましょうか。

(異議なし)

(新倉教育長)

それでは事務局で準備をお願いいたします。

6 閉会及び散会の時刻

令和4年7月14日(木) 午後3時32分

横須賀市教育委員会

教育長 新 倉 聡